

## 令和7年度（所属名）不祥事ゼロプログラムの検証等

### ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底）	職員一人ひとりに常に公務員としての自覚を持たせ、公務外非行を防止する。	○「行動指針」や「倫理に関する指針」について不祥事防止会議や毎月の不祥事防止研修会等を通して注意喚起を繰り返し確認することで意識の向上を図った。 ○風通しのよい職場づくりに係る啓発ができた。
わいせつ・セクハラ行為の防止体罰、不適切な指導の防止	職員や幼児児童生徒の人権を守るための研修を通してわいせつ・セクハラ行為、体罰や不適切指導を未然に防止する。	○児童生徒への人権意識の高揚を図るため外部講師による人権研修会を全職員参加のもと実施した。 ○わいせつ・セクハラ行為の防止に向けて、点検資料をもとに不祥事防止研修を行い意識向上に取り組んだ。 ○不祥事防止会議や研修会等を実施、注意点や対策を例月の点検も含め、再確認した。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	個別教育計画や進路関係書類、入学選抜に関する書類等の管理を適切に実施し、事故防止を図る。	○複数でのチェック等を徹底できるよう管理状況や保管の仕方を見直した。 ○書類の取扱者、管理者を明確にし、個人情報等の書類の流れ等をチェックするなど、組織的な不祥事防止に取り組んだ。
個人情報等の管理・情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報保護や情報セキュリティへの理解を深め、情報の流れを把握して、個人情報の流出等に係る不祥事を防止する。	○個人情報保護及び情報セキュリティへの理解を深めるための研修を実施した。 ○個人情報の紛失、誤配付、誤廃棄などを防止するため、扱い方を再確認することができた。 ○持ち出し許可や持ち出しの終了も含め、管理職がチェックを行い手続の徹底を行うことができた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規を遵守し、「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」を徹底し、酒酔い、酒気帯び運転の根絶を図る。	○交通事故防止、酒酔い等について教職員へ啓発資料を活用し職員の個々の点検も含め、コンプライアンスの向上を図った。 ○また、法令等の改正を含め飲酒運転による影響の重大性への認識や軽微な違反もしないという意識の醸成を行った。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	法令・要綱・マニュアル等諸規程に基づき、日常点検や相互チェックを行ない適正に業務を遂行する。	○業務の効率化を図り業務プロセスや手順の見直しを通じて、チェック体制の向上と業務効率化を実現するための取り組みを推進した。 ○業務遂行に当たり、マニュアル等を遵守し複数による点検等を徹底することができた。
会計事務等の適正執行	私費会計について、現金での扱いをなくし、適正な執行により、会計に係る不祥事を防止する	○本校の「私費会計事務処理の手引」に従い、執行方法を含め適正な執行を行うことができた。 ○会計事務の諸規程の遵守、予算の計画的な執行及び複数による確認等の徹底により、不適正経理を防止した。

### ○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（学校長意見）

本校では不祥事ゼロプログラムについて、年間を通じて啓発し、教職員の意識向上を図るため、不祥事防止会議や研修を実施した。特に、コンプライアンス、倫理、人権教育の徹底を重点的に推進し、教職員の規範意識を高める取り組みを進めた。

また、教職員向けの継続的な研修として、「事例から学ぶWell-beingの追求」を実施し、自己セルフチェックを通じて自らの行動を振り返り、不祥事を「自分事」として捉える姿勢を育

成した。さらに、同僚性の醸成を目的とした対話や協働の場を設け、教職員間の信頼関係を強化することで、組織全体の健全性を高め、働きやすい、働きがいのある職場づくりの取り組みを行った。

今後の課題として、教職員一人ひとりが日々の実践の中で規範意識を維持し続けること、また新たな課題に柔軟に対応できる組織体制の構築が挙げられる。不祥事の根絶に向けて、引き続き啓発活動や研修の充実を図り、学校全体で信頼される教育環境の実現を目指していく。